docomo

ご利用の前に必ずお読みください

P-01K

ご利用にあたっての注意事項

本書の最新の内容については、
ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）
https://www.nttdocomo.co.jp/biz/support/utilization/p01k/manual/
をご覧ください。

'18.9（第1.5版）
DHQX1489WC/J1
F0718-5022
DHQX1489WC/J1

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが最大レベルの状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 個人情報の漏えいを防ぐため、メッセージや添付ファイルなどを送信する前に必ず宛先を確認してください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページをご確認ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail™ 、Google Play™ などのGoogle™ サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。本端末の比吸収率（SAR）については、P.33をご覧ください。さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、ドコモのホームページをご覧ください。
- 輸出管理規制については、P.41をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・動物などにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、電池パック、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて〈共通〉

⚠ 危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.28「防水／防塵／耐衝撃性能について」

水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.28「防水／防塵／耐衝撃性能について」

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.28「防水／防塵／耐衝撃性能について」

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒P.28「防水／防塵／耐衝撃性能について」

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
・電池パックを本端末から取り外す。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.28「防水／防塵／耐衝撃性能について」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてフォトライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

本端末内のドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入部に水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスやアクリル樹脂、露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒P.18「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠ 危険

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方、取り外し方については、ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご参照ください。

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方については、ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご参照ください。

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

動物などが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
カバーが破損し、けがなどの原因となります。

電池パックを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ P-01K本体・電池パック P34

使用箇所		材質／表面処理
インターフェイスカバー	屈曲部	ポリエステル系エラストマー
	ネジ	鉄／ニッケルメッキ
	パッキン	シリコンゴム
	本体	PC
音量ボタン、サイドボタン、電源ボタン		ABS
カードスロットカバー、ネジキャップ（電池面）		PC
外装ケース	ディスプレイ面	PC／UV塗装
	電池面	PC
カバーラッチ、カバーラッチロック		POM
カメラパネル、ディスプレイ下部パネル、ディスプレイ上部パネル		PMMA／ハードコート
金属部分（電池収納面ラベル下）		ニッケル銅合金
コネクタ（電池収納面）		黄銅／ニッケル＋金
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ、ニッケルパラジウムメッキ、金メッキ
充電端子部カバー		PC／UV塗装
水没シール（電池収納部）		上質紙
ディスプレイ	パネル	強化ガラス
	液晶保護フィルム	PET／ハードコート
電池収納面		ガラスエポキシ／金メッキ
電池端子	樹脂部分	PA
	端子部	黄銅／ニッケルメッキ、ニッケルパラジウムメッキ

使用箇所		材質／表面処理
電池パック	樹脂部分	PC
	水没シール	上質紙／PET
	端子部（金属部分）	銅合金／金メッキ
	端子部（樹脂部分）	LCP
	パッキン	シリコンゴム
	ラベル	PET
	ラベル（小）	ポリエステル
ネジ（電池収納面）		鉄／ニッケルメッキ
ヘッドセット端子	樹脂部分	PA
ラベル（黒）（電池収納面）		PET
ラベル（白）（電池収納面）		ポリエステル
microSDカードスロット	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ、金メッキ
	樹脂部分	LCP
microUSBポート		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
NanoSIMカードスロット	樹脂部分	LCP
	金属部分	ステンレス鋼

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **P-01Kは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
電池パック、アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
■ **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
■ **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
■ **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
※－10℃～50℃の温度範囲では動作可能ですが、5℃～35℃の範囲外では、本端末に直接触れないでください。やけどや低温やけど、凍傷の原因となります。
また、ディスプレイの輝度低下や電池持ち時間の低下など一部機能制限や性能低下の可能性があります。
■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
■ **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどに定期的にバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
■ **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
■ **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
■ **通常はインターフェイスカバーを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、動物の尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
■ **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
■ **本端末をフィルム※やシールで装飾しないでください。**
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。近接センサーの位置は、本端末に同梱の「クイックスタートガイド」またはドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。
※お買い上げ時に貼られている液晶保護フィルムは除きます。
■ **カメラ、フォトライトのパネルを強く押したり擦ったりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
■ **電池パックは消耗品のため、保証対象外です。**
電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
■ **電池パックを保管される場合は、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
■ **電池の種類は次のとおりです。**
表示：Li-ion 00
電池の種類：リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

■ **ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
■ **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
■ **お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどに定期的にバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ **環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
■ **ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。
■ **ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。
■ **ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
■ Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。

❶ ❷❸ ❹❺
2.4FH1/XX1
❻

❶2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
❷FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
❸1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
❹XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
❺▭▭▭ ：2402MHz～2480MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

● Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について
本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。

❶ ❷ ❸❹
2.4DS/OF4
❺

❶2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
❷DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
❸OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
❹4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
❺▭▭▭ ：2412MHz～2462MHzの帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～11です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項
5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯（W52／W53／W56）の3種類の帯域を使用することができます。
- W52（5.2GHz帯／36、38、40、44、46、48ch）
- W53（5.3GHz帯／52、54、56、60、62、64ch）
- W56（5.6GHz帯／100、102、104、108、110、112、116、118、120、124、126、128、132、134、136、140ch）
本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCa およびNFCリーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末の FeliCa およびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、電波法に規定する誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けています。型式指定番号は本端末の銘板シールをご参照ください。
■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他の FeliCa およびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
■ 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の銘板シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
■ 本端末の FeliCa およびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能について

P-01Kは、インターフェイスカバーをしっかりと閉じ、電池パックを確実に取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX6※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。
また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。
※1 IPX6とは、内径12.5mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から100L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽にP-01Kを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μmの塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
※4 米国国防総省が制定したMIL-STD-810Gに準拠した独自の試験を実施しています。

雨の中やキッチン、プールサイドなどの水際でもご使用できます。
（注）実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

雨の中

● 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。（1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）
※ 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、電池パックの取り付け／取り外し、インターフェイスカバーの開閉は行わないでください。

洗う

● 本端末が汚れた場合は、洗面器などに張った常温の真水や水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
● 電池パックをしっかりと取り付けた状態で、インターフェイスカバーを押さえたまま洗ってください。
● 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
● 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き（P.31参照）を行ったのち、自然乾燥させてください。

レジャー

● プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
● プールの水や海水がかかった場合は所定の方法（P.28参照）で洗ってください。

キッチン

● 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
● お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

● ご使用前に、インターフェイスカバーをしっかりと閉じ、電池パックを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。インターフェイスカバーを閉じるときや電池パックを取り付けるときは、周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
● インターフェイスカバーや電池パックが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと水や粉塵が侵入する恐れがあります。
● 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は本端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。
● インターフェイスカバーの開けかた／閉じかたについては、ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。
● 電池パックの取り付け／取り外しについては、ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

注意事項

■ 本端末について
● 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
● 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
● 水滴が付着したまま放置しないでください。
- microUSBポートがショートする恐れがあります。
- マイク、受話口、スピーカー部の穴などの隙間や、ヘッドセット端子に水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、本端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

水で濡れた場合は、電池パックを取り付けた状態でインターフェイスカバーを閉じたまま水抜き（P.31参照）を行い、本端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。

● 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
● お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
● 本端末は水に浮きません。
● 規定（P.28参照）以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
● 砂浜などの上に直接置かないでください。
- マイク、受話口、スピーカー部の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
- 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
- インターフェイスカバー、電池パックに砂などがわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。

■ インターフェイスカバーや電池パックについて
● 手袋などをしたまま開閉しないでください。
パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
● 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
● パッキンをはがさないでください。また、インターフェイスカバーや電池パックの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。
パッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
● インターフェイスカバー、電池パックのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
● インターフェイスカバーが開いている状態や電池パックが取り外されている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■ マイク、受話口、空気穴、スピーカー部、ヘッドセット端子について
● マイク、受話口、空気穴、スピーカー部の穴を尖ったものでつつかないでください。
● 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■ その他
● 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。チャージングカップ（別売品）は、ACアダプタを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
● 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

● 本端末に水滴が付着したままご使用になると、以下のようになる場合があります。
- スピーカーなどの音量が小さくなる
- 音質が変化する
- 通話ができない
● マイク、受話口、スピーカー部の穴などの隙間や、ヘッドセット端子に水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順で本端末の水分を取り除いてください。

1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取ります。

2 本端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振ります。

3 乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、マイク、受話口、空気穴、スピーカー、ヘッドセット端子などの隙間に入った水分を拭き取ります。
● 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 十分に水分を取り除いてからご使用ください。
● 上記の手順を行っても、本端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。
● 本端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。本端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
● インターフェイスカバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりとインターフェイスカバーを閉じてください。microUSBポートから水や粉塵の侵入を防ぐため、チャージングカップ（別売品）を使用して充電することをおすすめします。
● 濡れた手でACアダプタ、チャージングカップに触れないでください。
● ACアダプタ、チャージングカップは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

保証について

● 本書に保証内容が記載されております。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
● 電池パック P34は無料修理保証の対象外となります。
● 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
● 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

<無料修理規定>
1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
(1)改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
(2)落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
(3)火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
(4)本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
(5)本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
(6)ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種P-01Kの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.558W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.996W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.0センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ：
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ：
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニック コネクト株式会社のホームページ：
https://panasonic.co.jp/cns/pmc/contact/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 LTE／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 LTE／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model P-01K mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines.
This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.
The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period.
The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.558 W/kg (*2) and when worn on the body is 0.996 W/kg (*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network.
Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.0 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.
The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (In Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
Panasonic Connect Co., Ltd. Website:
https://panasonic.co.jp/cns/pmc/contact/index.html (In Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

FCC Notice

● This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
● Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.
● This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government’s requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.59 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.98 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE318001A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘Airplane mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
Hospitals
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
Interference
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.
Battery
● Do not use/store battery in extremely low/high temperatures. Recommended operating temperature: 5°C to 35°C
● Tape over terminals to insulate Battery. Comply with local waste disposal regulations.
Explanation of graphical symbols on nameplate
⎓: Direct current

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

● お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
● お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

● 「FOMA」「mopera U」「ビジネスmopera」「おサイフケータイ」「公共モード」「spモード」「dメニュー」は（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
● 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
● FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
● microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
● N マークは NFC Forum, Inc. の米国およびその他諸国における商標、または登録商標です。
● Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック ホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
● Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
● オムロンソフトウェア（株）のiWnn IME for Androidを使用しています。
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.
● その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

その他

● 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。
詳細についてはMPEG LA, LLC (https://www.mpegla.com)をご参照ください。
● May be protected by one or more of the U.S. Patents found at the following address: www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.

オープンソースソフトウェア

● 本製品には、GNU General Public License Version2.0 (GPL V2.0), GNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェア及びGPL V2.0、LGPL以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL V2.0、LGPLまたはソースコードの開示義務その他の条件に従い、複製、頒布及び改変することができます。
本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック コネクト株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担頂くことを条件として、機器による読取が可能なGPL V2.0/LGPLが適用されるソースコードの複製物またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応するソースコードの複製物を提供いたします。
<お問い合わせ先>
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、ソースコードは、以下のウェブサイト経由で入手することもできます。
https://panasonic.net/cns/oss/index.html
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。当該ソフトウェアに関する詳細（GPL V2.0／LGPLの各ライセンス文含む）は、ホーム画面を上にスワイプし、アプリ一覧から[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[サードパーティ ライセンス]の手順で確認することができます。
● This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/source/license.html)
● This product includes the Independent JPEG Group's software. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
● Portions of this software are copyright 2017 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. This software is based in part on the work of FreeType Project.
● This product includes the following software; ICU 1.8.1 and later Copyright (c) 1995-2011 International Business Machines Corporation and others.
● This product includes other free software or open source software.

● For more details on the relevant software (including license information), refer to the information displayed on the following screen: swipe up the Home screen, and then in the App list, tap [設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[サードパーティ ライセンス].

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
● ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
● SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合
「＋」を画面表示 -81-3-6832-6600（無料）
（「＋」は「0」をロングタッチします。）
※「＋」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600（有料）
※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

モバイル・リサイクル・ネットワーク

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

キケン！水ぬれ充電
危険です、歩きスマホ。
VEGETABLE OIL INK

総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
ドコモのホームページ https://www.nttdocomo.co.jp/

法人のお客さま向けお問い合わせ先 <ドコモ・コーポレートインフォメーションセンター>

0120-808-539
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※海外からはご利用になれません。

受付時間 平日午前9:00～午後6:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 パナソニック コネクト株式会社